



交通政策審議会地域公共交通部会資料

松前町コミュニティバスの運行について

平成25年10月28日 愛媛県松前町

1. 松前町の概要

地勢

松前町は、愛媛県のほぼ中央に位置し、石鎚山系に端を発した一級河川重信川を境にして県都松山市の南に隣接し、道後平野の西南部にある。西は伊予灘に面し、南は伊予市を隔てて四国山脈が望め、豊かな自然と土地に恵まれたところである。

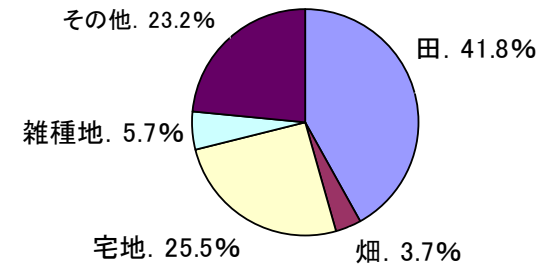
東は、田園地帯が広がり、米、麦、レタス、ネギなど農産物の栽培が盛んである。

面積は 20.32 km²、東西 6.9 km、南北 4km と比較的狭い状況であるが、すべて平坦地で可住地となっている。そのうち、3.96 km² (19.5%) が市街化区域となっている。

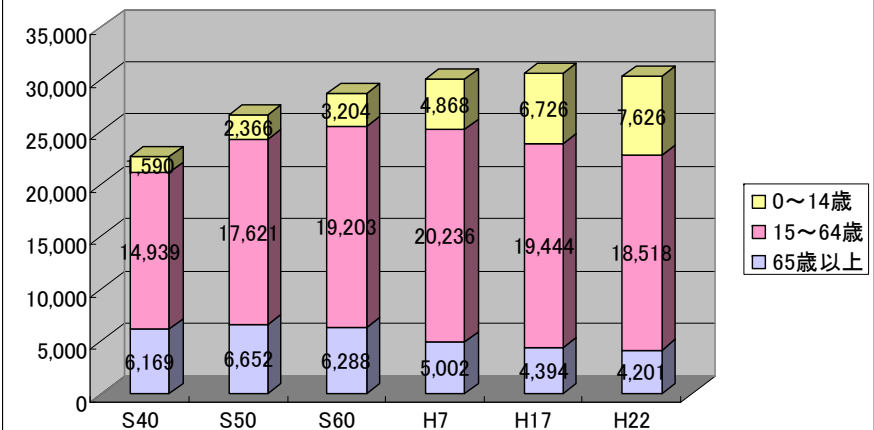
人口

松前町の人口は、平成 22 年国勢調査によると、30,345 人で、前回調査まで緩やかな増加となっていたが、今回、少しではあるが、減少に転じた。年齢別（3 区分）による人口の推移をみると、0 歳から 14 歳までの人口が 4,201 人（13.84%）で、減少傾向が続き、65 歳以上の人口が 7,626 人（25.1）で、着実に増加しており、少子高齢化が進んでいる。

平成24年地目別土地面積(単位:ha)



年齢別(3区分)人口の推移(単位:人)



施設の立地等

町内の公共施設では、役場庁舎、保健センター、総合文化センター（図書館・約700席のホール等）、総合福祉センター、松前公園（多目的グラウンド・体育館）が国道56号と県道松前八倉線の交差点付近に集中しており、行政サービスの利用やイベントの観覧、集会などの参加により、多くの人が集まり、松前町の中心地域となっている。

町の南部の国道56号沿いには県立伊予高校があり、町内外から1,000人を超える生徒が通学している。

町の西部の海岸沿いには、東レ株式会社愛媛工場があり、最近の生産ライン増設等に伴い、1,000人を超す従業員が通勤している。

また、塩屋地区に工業専用地域があり、工場・作業所等が多く立地し、従業員も多い。最近開店した大型商業施設「エミフルMASAKI」も広い地域から買物客が来店し、賑わいを見せているほか、従業員約2,000人も通勤し、町内の人の流れが大きく変わってきている。



中四国最大級の大型のショッピングセンター「エミフル MASAKI」
お出かけスポットとしても居住空間としても、県内の人気を集めている

人の動き

平成17年国勢調査では、松前町民（15歳以上）の通勤・通学状況は、就業者14,459人のうち、6,511人（45.0%）が町内で就業し、通学者1,541人のうち496人（32.2%）が町内で通学している。また、町外で就業している人7,905人のうち、5,981人（75.7%）が松山市へ、町外へ通学している人1,045人のうち893人（85.4%）が松山市へ通学しており、それぞれ他の地域に比べて圧倒的に多くなっている。

都市と自然が調和する町 松前町

水きらめき、笑顔あふれるライフタウン

親水公園

町内各所に湧水が見られ、これらの水は、古くから生活用水、農業用水、工業用水として人々の暮らしを支えてきた。この湧水を利用した「有明公園」・「福德泉公園」・「ひよこたん池公園」などの親水公園は、憩い、交流、学習の場として生活に潤いをもたらしている。



福德泉公園



有明公園

義農作兵衛

享保の大飢饉の中、麦種を後世に残して大儀に死した「社会に奉仕する崇高な精神を伝えた偉人」。この精神は、「義農精神」として、今日も町民の心に脈々と受け継がれている。



義農公園にある義農作兵衛像

小魚珍味

松前町は、伊予灘で揚がる小魚を生かした「珍味」の発祥地で、生産量日本一。酒のさかな、子どものおやつにもってこい。

町内には 30 社あまりの加工業者が軒を連ね、町内唯一の地場産業として発展し続けている。



はんぎり競漕

はんぎり競漕は、地引網で獲れた魚を入れたり、沖と岸を結ぶ連絡用に使われていた「はんぎり（大きな桶）」に乗り、道具を使わずに足と腰でバランスをとりながら速さを競う競技。

8月最初の土曜日に開催される夏祭りの目玉イベントとして、町内外から多くの人が競技に参加し、熱戦が繰り広げられる。



2. コミュニティバス運行の経緯

松前町では、それまで運行していた福祉バスに代わって平成20年8月から、新規路線バス（コミュニティバス）を運行し、町内の公共交通の空白地域を埋めることによって、町民の利便性の向上を図っている。

コミュニティバス運行の理由

① 町内を東西に結ぶ公共交通機関がない

松前町内の公共交通機関は、伊予鉄バス北伊予線、伊予鉄バス八幡浜三崎特急線、宇和島バス松山道後～宇和島城辺線、伊予鉄郡中線、JR四国予讃線が運行され、駅やバス停留所があるが、いずれも町内から南北（特に松山方面）へのアクセスとなっており、町内を東西に結ぶ公共交通機関がなく、住民の交通に不便をきたしている。

② 福祉バスは不便で利用者が少ない

平成13年10月から、松前町が無償で町内を巡回する福祉バスを運行していたが、平日のみの運行となっていること、対象者が高齢者や障がい者などに限定されていること、目的地が役場周辺の公共施設のみとなっていることなどにより、利用者が少ない。

③ 大型商業施設の開店による渋滞緩和

平成20年の春に大型商業施設が開店したことにより、町内外から多くの買い物客が自家用車で訪れ、店舗周辺の道路が交通混雑することから、その緩和策として、公共交通機関の運行が望まれている。

④ 住民からの強い要望

病院、開店した大型商業施設、伊予鉄道の駅の近くに停留所を設け、だれでも、どこの停留所でも乗り降りでき、土日祝祭日も運行する公共交通手段への要望が強くなっていった。

コミュニティバス運行までの経過

- ・ 平成 20 年 1 月 福祉バス検討委員会において、福祉バスの廃止について了解を得る。
- ・ 平成 20 年 2 月 福祉バスを運行委託している社会福祉協議会に廃止を通知する。伊予鉄道にコミュニティバスの運行について協議を始める。
- ・ 平成 20 年 2 月 (株) フジに運行経費の一部負担を依頼する。
- ・ 平成 20 年 2 月 議員全員協議会にコミュニティバスの運行について説明。
- ・ 平成 20 年 4 月 区長会に説明し、地域の了解を得る。
- ・ 平成 20 年 6 月 松前町地域公共交通会議を開催し承認される。
- ・ 平成 20 年 6 月 議員全員協議会で説明。議会で必要な経費の予算を議決。
- ・ 平成 20 年 7 月 一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス）として国土交通大臣から認可を受ける。
- ・ 平成 20 年 8 月 7 月末で福祉バスを廃止し 8 月 1 日からコミュニティバスを運行。



3. 松前町の公共交通の現状

松前町の公共交通の特性

松前町には公共交通機関として伊予鉄バス北伊予線、伊予鉄バス八幡浜・三崎特急線、宇和島バス松山道後～宇和島城辺線、伊予鉄郡中線、JR 四国予讃線が運行され、町内に駅やバスの停留所がある。

このうち、松前町民が、通勤・通学・買い物などで利用する公共交通機関は、いずれも町内から南北（特に松山方面）へのアクセスとなっている。

しかし、松前町の町内を東西に結ぶ公共交通がなく、北伊予方面から公共施設の利用や塩屋、大間など駅やバス停までの距離が長く現在の公共交通機関が利用しにくい地域もあり、住民の交通に不便をきたしている状況である。

松前町では、現在ある伊予鉄郡中線やJR 四国予讃線の運行充実や町内を巡回する交通機関の要望が強くなっている。



伊伊予鉄バス北伊予線

このバス路線は、北伊予地域の住民が松山市内へ行く際の交通手段として多く利用されている。町内には、中川原橋詰、中川原、西中川原、小松原、北伊予駅前の停留所があり、北伊予駅前はこの路線の終点となっている。平日1日28便が往復運行している。

伊予鉄バス八幡浜・三崎特急線

松山から国道56号を通行して、八幡浜港などを往復する路線であり、町内には、伊予岡田、伊予松前、伊予高校前の停留所があり、上り・下りともそれぞれ5便が運行している。

宇和島バス松山・道後～宇和島・城辺線

大型商業施設の開店に伴い、平成20年の4月23日から、町内に「エミフルまさき」という停留所が設置された。平日1日上り15便、下り16便が運行している。

伊予鉄郡中線

伊予鉄道の郊外電車として、松山市駅と郡中駅との間を約15分に1本が運行され、町民の通勤・通学の足として、また松山市への買物等の交通手段として広く利用されている。町内には岡田駅、古泉駅、松前駅、地蔵町駅があり、平日1日上り下りとも地蔵町駅では59便、他の駅では61便が運行している。

JR 四国予讃線

町内のJRの駅は北伊予駅と伊予横田駅であり、いずれも普通列車のみの停車となっている。平日1日上り33便、下り31便が運行している。



4. 松前町福祉バスの概要及び運行の廃止

松前町福祉バスの概要

目的

松前町福祉バスは、松前町役場庁舎、地区公民館を利用する高齢者、身体障がい者などの交通弱者に対し移動交通手段を提供し、福祉の増進を図ることを目的に、平成13年10月から運行。

コース・便数

福祉バスの運行開始当初は、月曜日から金曜日の曜日ごとにコースを設定し、1日2便を運行していたが、利用者増を図るため、平成17年10月に見直しを行い、平日のみの運行で1日7便（東コース4便、西コース3便）とした。

利用対象者

- 60歳以上の高齢者、身体障がい者手帳又は療育手帳等を所持している者及び介護保険の認定申請の結果要支援又は要介護の認定を受けている者並びにその介助者
- 妊娠及び乳児健診等を受けている者で、母子手帳を持参している者及びその同伴者

利用条件

往路については、各地区公民館、福祉センター、役場庁舎の停留所でないと下車できない。利用料は無料。

福祉バスの利用状況

利用者数については、見直し前では1ヶ月平均70人～90人で、1便あたり平均1～2名となっている。見直し後では1ヶ月平均200人を超え増加しているが、1便あたり平均では2人程度となっている。

福祉バスの運行の廃止

利用者数が非常に少ないうえに、運行経費も年間600万円近くになり、費用対効果の面で問題となっている。また、アンケート調査で、「町の催しは土曜日曜が多いがバスが運行されていないので行きづらい」、「病院の前や伊予鉄の電車の駅で降りたい」などの要望が多かった。このため、福祉バスを廃止し、新たな公共交通として、新規バス路線（コミュニティバス）を運行することとした。



5. コミュニティバス（通称「ひまわりバス」）の運行

ひまわりバスの特徴

国道の東を巡回する東コースと、西を巡回する西コースの2コースで、それぞれ右回り・左回り2便の計1日8便を運行

だれでも、どこの停留所からでも乗り降りでき、毎日運行

地域に身近なバス

狭い道や乗客が少ないなどの理由でこれまでバスが運行していなかった地域も経由。地域内の身近な移動手段として支援する巡回ルート。

他のバスや鉄道との連携、公共施設、医療機関、商業施設などを結び、効率的で便利な公共交通を実現している。

気軽に乗れる運賃

運賃は大人100円、小学生50円、町内の65歳以上の方や障がい者とその介助者は無料。

伊予鉄い〜カードや伊予鉄シルバ一定期も利用できる。
6歳未満の子どもは、保護者同伴の場合は子ども1人分無料。1歳未満は無料。

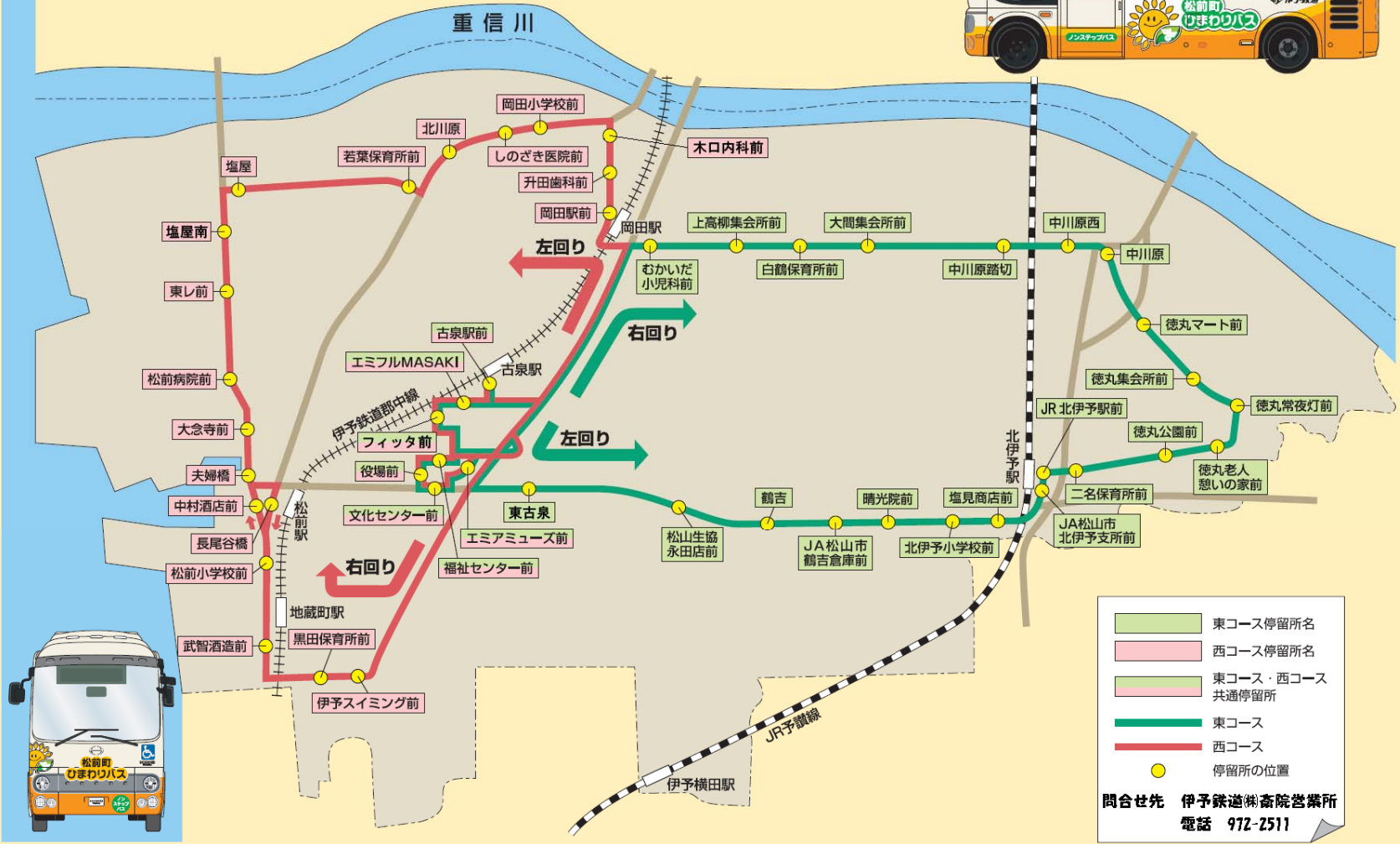
人に優しい

運行車両は、ノンステップバスの29人乗りで車椅子1台に対応している。

高齢者、障がい者など、交通手段を持たない人が安心して利用できるように配慮している。

- 道路運送法第4条の規定により国土交通大臣の許可を受け、一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス）を運行。
- 松前町内を東西に移動する公共交通機関を確保。
- 運行主体は、鉄道、軌道、乗合自動車事業など、愛媛県の公共交通機関の中心的役割を担っている伊予鉄道株式会社。
- 松前町が伊予鉄道（株）に運営補助金を交付。65歳以上や障がい者の無料運賃分を松前町が負担。
- 伊予鉄道がバスの購入や停留所の設置をするために必要な経費（約2000万円）も、松前町が補助金として交付。

松前町ひまわりバス運行路線図



松前町ひまわりバス時刻表

| ＜東コース(北伊予～岡田方面＞ | | | | | | ＜西コース(松前～岡田方面＞ | | | | | |
|-----------------|------|-------|-------------|-------|-------|----------------|------|-------|----------|-------|-------|
| 左回り | | | 右回り | | | 右回り | | | 左回り | | |
| 停留所 | 1便 | 5便 | 停留所 | 3便 | 7便 | 停留所 | 2便 | 6便 | 停留所 | 4便 | 8便 |
| 役場前 | 8:00 | 13:00 | 役場前 | 10:00 | 15:00 | 役場前 | 9:00 | 14:00 | 役場前 | 11:00 | 16:00 |
| 文化センター前 | 8:00 | 13:00 | 文化センター前 | 10:00 | 15:00 | 文化センター前 | 9:00 | 14:00 | 文化センター前 | 11:00 | 16:00 |
| エミアミューズ前 | 8:01 | 13:01 | エミアミューズ前 | 10:01 | 15:01 | エミアミューズ前 | 9:01 | 14:01 | エミアミューズ前 | 11:01 | 16:01 |
| フィッタ前 | 8:03 | 13:03 | フィッタ前 | 10:03 | 15:03 | フィッタ前 | 9:03 | 14:03 | フィッタ前 | 11:03 | 16:03 |
| エミフルまさき | 8:04 | 13:04 | エミフルまさき | 10:04 | 15:04 | エミフルまさき | 9:04 | 14:04 | エミフルまさき | 11:04 | 16:04 |
| ～省略～ | | | | | | ～省略～ | | | | | |
| 徳丸常夜灯前 | 8:25 | 13:25 | 二名保育所前 | 10:30 | 15:30 | 北川原 | 9:25 | 14:25 | 夫婦橋 | 11:25 | 16:25 |
| 徳丸集会所前 | 8:26 | 13:26 | JR北伊予駅前 | 10:32 | 15:32 | しのぎき医院前 | 9:26 | 14:26 | 長尾谷橋 | 11:26 | 16:26 |
| 徳丸マート前 | 8:27 | 13:27 | JA松山市北伊予支所前 | 10:33 | 15:33 | 岡田小学校前 | 9:27 | 14:27 | 松前小学校前 | 11:27 | 16:27 |
| 中川原 | 8:29 | 13:29 | 塩見商店前 | 10:33 | 15:33 | 木口内科前 | 9:27 | 14:27 | 武智酒造前 | 11:28 | 16:28 |
| 中川原西 | 8:30 | 13:30 | 北伊予小学校前 | 10:34 | 15:34 | 升田歯科前 | 9:28 | 14:28 | 黒田保育所前 | 11:30 | 16:30 |
| 中川原踏切 | 8:32 | 13:32 | 晴光院前 | 10:34 | 15:34 | 岡田駅前 | 9:29 | 14:29 | 伊予スイミング前 | 11:31 | 16:31 |
| 大間集会所前 | 8:34 | 13:34 | JA松山市鶴吉倉庫前 | 10:35 | 15:35 | エミアミューズ前 | 9:35 | 14:35 | エミアミューズ前 | 11:35 | 16:35 |
| 白鶴保育所前 | 8:35 | 13:35 | 鶴吉 | 10:36 | 15:36 | フィッタ前 | 9:35 | 14:35 | フィッタ前 | 11:35 | 16:35 |
| 上高柳集会所前 | 8:36 | 13:36 | 松山生協永田店前 | 10:37 | 15:37 | エミフルまさき | 9:36 | 14:36 | エミフルまさき | 11:36 | 16:36 |
| むかいだ小児科前 | 8:37 | 13:37 | 東古泉 | 10:38 | 15:38 | 古泉駅前 | 9:38 | 14:38 | 古泉駅前 | 11:38 | 16:38 |
| エミアミューズ前 | 8:43 | 13:43 | エミアミューズ前 | 10:43 | 15:43 | 福祉センター前 | 9:41 | 14:41 | 福祉センター前 | 11:41 | 16:41 |
| フィッタ前 | 8:44 | 13:44 | フィッタ前 | 10:44 | 15:44 | 役場前 | 9:42 | 14:42 | 役場前 | 11:42 | 16:42 |
| エミフルまさき | 8:45 | 13:45 | エミフルまさき | 10:45 | 15:45 | | | | | | |
| 古泉駅前 | 8:46 | 13:46 | 古泉駅前 | 10:46 | 15:46 | | | | | | |
| 福祉センター | 8:49 | 13:49 | 福祉センター前 | 10:49 | 15:49 | | | | | | |
| 役場前 | 8:50 | 13:50 | 役場前 | 10:50 | 15:50 | | | | | | |



6. ひまわりバスの利用状況

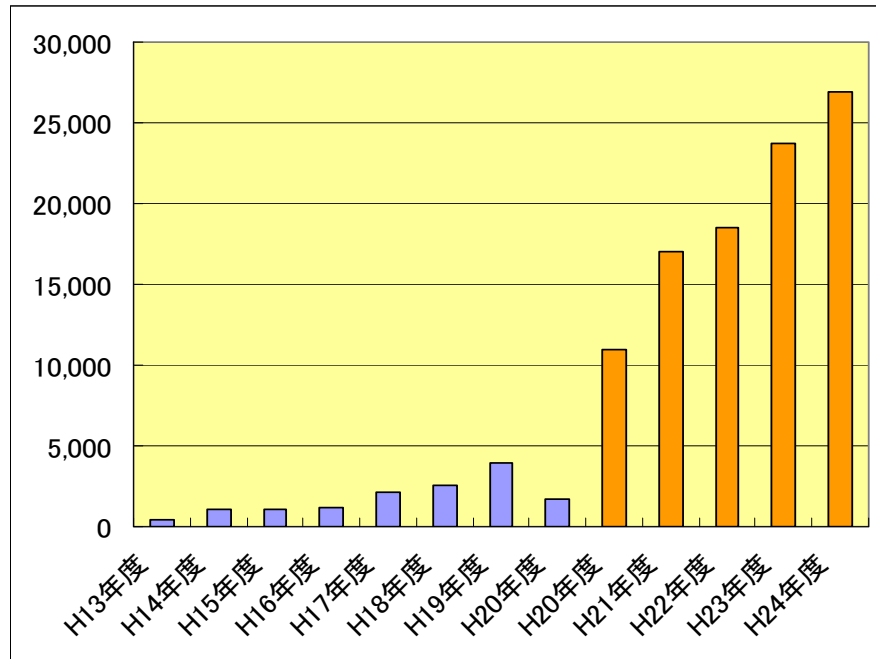
増加している利用者数

福祉バスの平成 19 年度と
コミュニティバスを運行して 2 年目の平成 21 年度を比較してみると、
平成 19 年度の利用者は、延べ 3,938 人 で 1 便当たりの利用者は 2.3 人、
平成 21 年度の利用者は、延べ 17,015 人 で 1 便当たり 5.9 人 と大幅に利用者が増えている。
直近の平成 24 年度では、年間延べ 26,901 人 が利用し、1 便当たり 9.4 人 と
利用者は年々増加している。

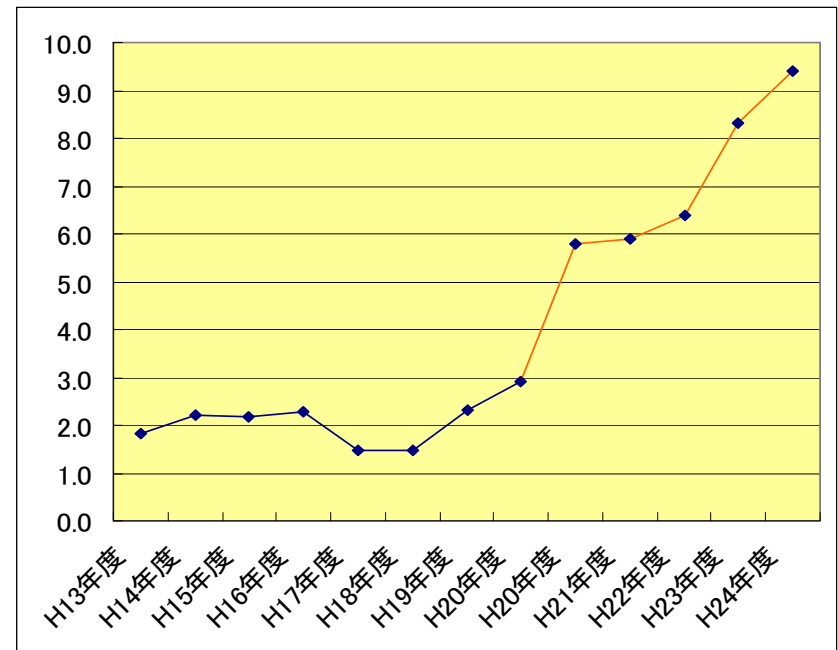


| 年度 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|---------|--------------------------|---------|-------|-------|---------------------------|---------|-------|-----------------------|------------------|---------|--------|--------|--------|
| 利用人員 | 438 | 1,087 | 1,065 | 1,165 | 2,173 | 2,546 | 3,938 | 1,721 | 10,971 | 17,015 | 18,515 | 23,695 | 26,901 |
| 1 便利用人員 | 1.8 | 2.2 | 2.2 | 2.3 | 1.5 | 1.5 | 2.3 | 2.9 | 5.8 | 5.9 | 6.4 | 8.3 | 9.4 |
| 備考 | 10 月 から 1 日 2 便 | 1 日 2 便 | | | 2 ヶ月 2 便、10 ヶ 月 7 便 | 1 日 7 便 | | 7 月末ま で 1 日 7 便 | 8 月から 1 日 8 便 | 1 日 8 便 | | | |

利用者数の推利用移



1便あたりの利用者数の推移



◆ひまわりバス利用アンケート

1. 年齢・性別

| 年齢 | 男性 | 女性 |
|-----|----|----|
| 20代 | 1 | 1 |
| 30代 | | 1 |
| 40代 | | 1 |
| 50代 | | 1 |
| 60代 | 2 | 1 |
| 70代 | | 4 |
| 80代 | 1 | 5 |
| 無回答 | | 1 |
| 合計 | 4 | 15 |

2. 利用目的(複数回答)

| 利用目的 | 回数 |
|---------|----|
| 病院(町内) | 4 |
| 病院(町外) | 4 |
| 買い物(町内) | 11 |
| 買い物(町外) | 2 |
| 役場 | 3 |
| 福祉センター | 4 |
| 文化センター | 2 |
| 福祉施設 | 2 |
| その他 | 3 |
| 無回答 | 1 |

3. 利用回数

| 利用回数 | 回数 |
|-------|----|
| 毎日 | 1 |
| 週5~6回 | 4 |
| 週3~4回 | 4 |
| 週1~2回 | 7 |
| 月に数回 | 1 |
| その他 | 1 |
| 無回答 | 1 |

4. 満足度

| 満足度 | 回数 |
|------|----|
| 大変満足 | 13 |
| 満足 | 1 |
| やや満足 | 2 |
| 普通 | 2 |
| やや不満 | 0 |
| 不満 | 0 |
| 無回答 | 1 |

利用者の声も好評



酒井 一美さん (73才)
カズエさん (69才)

「エミフルで買い物をするときを利用して
います。歩いてくることもあるけれど、たく
さん買い物をした日は、このバスがあると助
かります。おかげで外出することが増えまし
たよ」



林 紀代子さん (68才)
門田 素子さん (80才)

「ひまわりバスができてから、エミフルや図
書館、松山市内に出かけるのに利用していま
す。それまでは、岡田駅まで歩いて松山に出
ていました。とても便利で、週に4回ほど乗
ります。今日はエミフルにクリーニングを取
りに行くんです。運転手さんはみんな運転が
うまいので安心していきます」

「ひまわりバスになってから、毎週5日福祉
センターに電気やマッサージ治療に通って
います」



谷口 ヨシミさん (86才)
仲田 満子さん (75才)

「ひまわりバスができる前は、自転車で北伊
予駅まで行って松山に出ていました。道は狭
いし、踏切を超えないといけないから転びそ
うで、駅まで行くのが不安でした。ひまわり
バスは停留所が歩いてすぐのところにあるの
で、松山に行くのが苦にならなくなりました
よ」「何時のひまわりバスに乗って、何時のバ
スで帰るから、帰りの電車は何時のに乗らな
きゃ…って考えるのも頭の体操になっていい
ですよ」

交通事故防止にも貢献

★ひまわりバスを活用して交通安全の啓蒙

★500日間死亡事故ゼロを達成

ひまわりバスを高齢者が利用することによって、高齢者が事故に遭うリスクが減少したことも。

500日間 死亡事故①

交通安全 松前町を優良表彰
県本部

2011年10月24日 交通事故ゼロを達成、最後に交通死亡事故がなかった松前町は7日、500日連続で死亡

交通安全対策優良市町として表彰された。同町などによると、08年の大型ショッピングセンター開店以降、休日を中心に交通量が

交通安全 松前町を優良表彰
県本部

500日連続で交通死亡事故ゼロを達成し、表彰状を受け取る松前町

増えた同町では、人口10万人当たりに換算した事故発生件数が10年は年間668・5件で県内ワースト1位。11年(591・2件)、12年(513・1件)はいずれもワースト4位だった。

町は事故を減らすと、12年は危険箇所マップづくりなど独自の取り組みを進め、交通安全意識向上に努めてきた。

8日に県庁であった表彰式では、町保健福祉部の高橋昌志部長が、県の上甲俊史県民環境部長から表彰状を受け取った。高橋部長は「交通量が増える中で達成できて喜んでいる。日ごろから関係機関が地道に活動してくれたおかげで述べた。表彰制度は12年2月から始まり、自治体の規模に応じて死亡事故ゼロの目標連続日数を設定。これまでに300日間ゼロだった宇和島市など6市町が表彰されている。」

(竹下世成)

年末足元気をつけて

循環バスにサンタ同乗 交通安全グッズ配る 松前

クリスマスの25日、コミュニティバス「町夕姿の町職員と伊予署」の2人が乗車し、乗客

「町ひまわりバス」の乗客に交通安全グッズをプレゼントするサンタ姿の町職員と伊予署員

客に交通安全グッズをプレゼント。年末の注意を呼び掛けた。同バスは町と伊予鉄道(松山市)が共同で1日8便運行しており、65歳以上の町民らが無料で利用できる。2人は、停留所で扉が開くたび、乗り込んでくるお年寄りらに「メリークリスマス」

に、反射材付き巾着袋や、小型の発光ダイオード(LED)ライトなどを手渡した。午前と午後1便ずつ乗車、計約60人に配った。乗客は「最近反応が遅くなって」「この横断歩道は事故が多い」などと交通安全の話に花を咲かせていた。同町徳丸、無職木下隆子さん(85)は「思いがけずうれしかった。クリスマスを楽しんだのは数十年ぶりだし、プレゼントは初めて」と顔をほころばせた。

(竹下世成)

7. ひまわりバスの運営

平成24年度のコミュニティバスの運行は大幅な赤字

○人件費、燃料代、一般管理費などの運行経費の総額は、9, 488, 244円

○運賃収入は、車中金とICカードを合わせて428, 209円

○無料扱いで松前町が負担する高齢者や障がい者の運賃分2, 233, 350円

○運行経費から運賃収入を差し引いた損益は6, 826, 685円の赤字

○赤字分と無料扱い運賃等を合わせた9, 112, 955円を松前町が運営主体である伊予鉄道へ補助金として交付

○エミフル MASAKI を経営する（株）フジが広告料として、上記伊予鉄道の補助金の半額を松前町に寄附



運営に関しては、1人の運転手で、1台のバスを利用して、1便が1時間以内で1日8便に設定するなど、効率的な運行を行い、経費を抑えているが、運営経費は900万円を超え多額であり、松前町から大幅な持ち出しを余儀なくされている。

運行を安定的に継続するためには国の支援が必要

松前町は、平成20年8月に福祉バスからコミュニティバスの運行に変更し、運行5年目に入り、高齢者や障害者にはなくてはならない地域の公共交通機関として定着するとともに、住民から「ひまわりバス」として親しまれ喜ばれている。

利用者も年々増加傾向にあり、松前町としては厳しい財政事情ではあるが、今後もできるだけ長期にわたり、コミュニティバスの運行を継続していきたいと考えている。

しかし、現在の国の補助制度では、運行系統が複数の市町村をまたがっていること、運行系統の1日当たりの輸送量が15人以上であること、運行系統の1日当たりの運行回数が3回以上であることなどの要件があり、松前町は国の補助を受けることができないまま運営を続けている。

超高齢社会を迎え、交通手段のない高齢者の足として公共交通はさらに重要となる。今後、補助要件を緩和（例えば、単独の市町村、1日当たり10人以上、運行回数2回以上）することによって、さらに公共交通の普及と運営の安定化を図っていく必要があると考えている。

地域公共交通の手続きを簡素化

伊予鉄道が松前町への新規バス路線を運行するに当たり、地域公共交通会議の了承を得ることが陸運局への申請の要件になっていた。地域公共交通会議の委員には関係者のほか、タクシー関係業者も複数委員に入れるよう指導されていたが、タクシー業界としてバスの運行に賛成するものはなく、理解が得られない中、賛成多数で了承を得た経緯がある。地域公共交通会議の委員については、地方自治体の裁量に委ねてもらいたい。

また、開始した後に住民からの要望により、松前町役場駐車場の中を通過するよう路線の一部を変更する申請の際も、同様に地域公共交通会議の了承を得て陸運局に申請した。軽微の変更等は地域の実情に詳しい地方自治体の裁量に委ねるべきである。

交通事故防止のポスターを作成しました

松前町の行政や住民、教育などの団体や企業でつくる町交通安全推進協議会がユニークな交通事故防止と地域 PR を兼ねたポスターを製作した。①たらいを頭に載せた伝統的な女性の行商人「おたたさん」を題材に車にはねられそうになって驚く姿を表現して横断歩道でも注意を怠らないよう促している作品。②特産の海産珍味を味わいながら、飲酒運転を言語道断と戒める作品。③町のユニークな競技である「はんぎり競漕」では乱暴な運転をしないよう訴える作品。いずれも 100 枚を印刷し町内各地に掲示している。

